ApeosPort-V C3320
ApeosPort-V 4020
かんたんボックス保存
取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、「かんたんボックス保存」（以降、「本アプリケーション」と呼びます）に含まれる各機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載しています。本アプリケーションのご使用にあたっては、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

目次

目次 2
かんたんボックス保存について 3
かんたんボックス保存の特長 3
スキャンする 3
スキャンを中止する 5
各画面について 5
管理者設定 12
トラブル対処 14
注意 / 制限事項 17

索引 18

かんたんボックス保存について

「かんたんボックス保存」は、複合機の親展ボックス保存機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

本アプリケーションをインストールすると、メニュー画面に［かんたんボックス保存］が表示されます。

補足

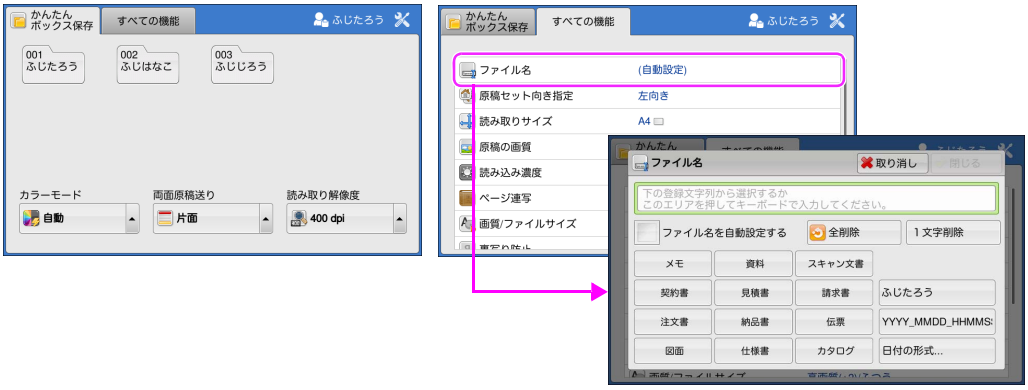
- 本アプリケーションをインストール/アンインストールする手順、およびアプリケーションに含まれる各機能を使用するために必要な環境設定については、『ApeosPort-V C3320/4020 かんたんボックス保存　インストールガイド』を参照してください。

かんたんボックス保存の特長

各ユーザーが利用できる親展ボックスだけが表示され、スキャンしたデータの保存先が簡単に選択できます。

ファイル名の設定では、自動設定（YYYY_MMDD_HHMM：スキャン開始時の年月日時分）だけでなく、あらかじめ登録されている文字列やユーザー名、日付などを組み合わせて入力できます。

また、特定の親展ボックスが選択された状態を初期値として保存すると、次回から保存先の選択を省略できます。



スキャンする

「かんたんボックス保存」の、基本的な操作の流れを説明します。

1 原稿をセットします。

参照

- 原稿をセットする方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

2 認証機能を利用している場合は、認証モードに入ります。

1) 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2) 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、［確定］を押します。

補足

- パスワードの入力が必要な場合は、User ID を入力したあと、［次へ］を押し、パスワードを入力します。
- ICカードを使用している場合は、ICカードをICカードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

3 メニュー画面で、［かんたんボックス保存］を押します。

4 スキャンしたデータを保存する親展ボックスを選択します。

補足

- 親展ボックスが１つしか表示されていない場合は、すでに選択された状態となります。

5 必要に応じて、各項目を設定します。

参照

- 各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.5) を参照してください。

6 操作パネルの〈スタート〉ボタンを押します。

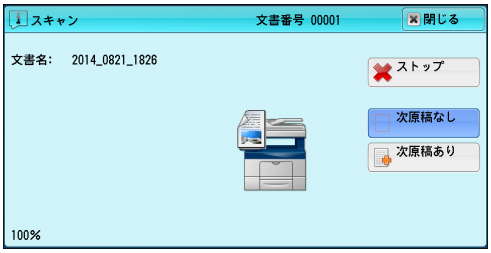
7 親展ボックスに文書が格納されていることを確認します。

参照
- 親展ボックスに格納された文書を確認する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

スキャンを中止する

スキャンを中止する手順について説明します。

1 操作パネルの〈ストップ〉ボタン、またはタッチパネルディスプレイの［ストップ］を押します。



2 ［中止］を押します。

各画面について

ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

［かんたんボックス保存］画面

［かんたんボックス保存］画面で設定できる項目について説明します。

■ボタン

このボタンを押すと、管理者設定画面が表示されます。

参照

- 管理者設定画面については、「管理者設定」(P.12) を参照してください。

補足

- このボタンは、機械管理者、または管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

■ボタン

このボタンを押すと、［初期値保存］を選択できます。

補足

- このボタンは、機械管理者でログインした場合に表示されます。

- 初期値保存

  現在、［かんたんボックス保存］画面、および［すべての機能］画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

  選択すると、確認画面が表示されるので、［はい（保存する）］を押します。

■カラーモード

［自動］、［フルカラー］、［グレースケール（256 階調）］、［白黒（2 階調）］から選択します。

補足

- カラースキャンを禁止されたユーザーが［自動］、［フルカラー］を選択した場合、および白黒スキャンを禁止されたユーザーが［自動］、［グレースケール（256 階調）］、［白黒（2 階調）］を選択した場合、エラーメッセージが表示され、設定できません。

■両面原稿送り

［片面］、［両面（左右開き）］、［両面（上下開き）］から選択します。

補足

- ［ページ連写］画面で、ページ連写の設定をしている場合は、［両面（左右開き）］、および［両面（上下開き）］は設定できません。

■読み取り解像度

［200dpi］、［300dpi］、［400dpi］、［600dpi］から選択します。

［すべての機能］画面

［すべての機能］画面で設定できる項目について説明します。

■ ボタン

このボタンを押すと、管理者設定画面が表示されます。

参照
- 管理者設定画面については、「管理者設定」(P.12) を参照してください。

補足
- このボタンは、機械管理者、または管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

■ ボタン

このボタンを押すと、[初期値保存]、または［リストの編集］を選択できます。

補足
- このボタンは、機械管理者でログインした場合に表示されます。

- 初期値保存

  現在、[かんたんボックス保存］画面、および［すべての機能］画面で設定している内容を、初期値として保存できます。

  選択すると、確認画面が表示されるので、[はい（保存する)］を押します。

- リストの編集

  [すべての機能］画面の項目の表示順を変更できます。よく設定する項目を、上に配置しておくと便利です。

  選択すると、［リストの編集］画面が表示されます。

参照
- 詳しくは、「[リストの編集］画面」(P.8) を参照してください。

■ファイル名

選択すると、［ファイル名］画面が表示されます。

参照
- 詳しくは、「[ファイル名］画面」(P.9) を参照してください。

■原稿セット向き指定

選択すると、［原稿セット向き指定］画面が表示されます。

原稿をセットする向きを、[読める向き]、[左向き］から選択し、[閉じる］を押してください。

補足
- [ページ連写］画面で［左とじ原稿（よこ書き)]、[右とじ原稿（たて書き)]、または［上とじ原稿］を設定している場合、この項目は設定できません。

■読み取りサイズ

選択すると、[読み取りサイズ］画面が表示されます。

原稿のサイズを選択し、[閉じる］を押してください。

■原稿の画質

[文字 / 写真]、[文字]、[写真］から選択します。

■読み込み濃度

[こく（+ 3)]、[こく（+ 2)]、[こく（+ 1)]、[ふつう]、[うすく（+ 1)]、[うすく（+ 2)]、[うすく（+ 3)］から、読み込み濃度を 7 段階で調節できます。

■ページ連写

選択すると、［ページ連写］画面が表示されます。

参照
- 詳しくは、「［ページ連写］画面」（P.11）を参照してください。

■画質 / ファイルサイズ

選択すると、［画質 / ファイルサイズ］画面が表示されます。

参照
- 詳しくは、「［画質 / ファイルサイズ］画面」（P.12）を参照してください。

■裏写り防止

薄い紙に両面にプリントしてある原稿などをスキャンする場合、原稿の裏が写らないようにできます。［する］、［しない］から選択してください。

■地色除去

新聞や、下地（背景）に色が付いている原稿の、下地の色を除いてスキャンできます。［する］、［しない］から選択してください。

■カラーモード

参照
- ［カラーモード］については、「カラーモード」（P.6）を参照してください。

■両面原稿送り

参照
- ［両面原稿送り］については、「両面原稿送り」（P.6）を参照してください。

■読み取り解像度

参照
- ［読み取り解像度］については、「読み取り解像度」（P.6）を参照してください。

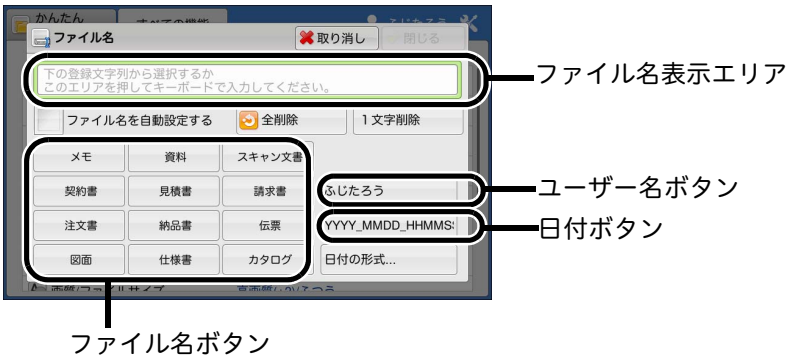
［リストの編集］画面

［リストの編集］画面では、［すべての機能］画面の項目の表示順を変更できます。

表示順を変更したい項目をロングタップし、そのまま移動したい位置にドラッグ & ドロップすると、順番を入れ替えることができます。

［ファイル名］画面

［ファイル名］画面では、スキャンデータのファイル名を入力したり、あらかじめ登録されているパターンから選択したりできます。



注記

- メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、ここで設定したファイル名は反映されません。

補足

- ファイル名は、全角 32 文字以内、半角 64 文字以内で入力できます。ただし、CentreWare Internet Services を利用してスキャンデータを取り出す場合は、全角 14 文字以内、半角 64 文字以内で入力してください。
- ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。その場合、項目と項目の間に自動で「 _ 」が入ります。
- 「¥」（半角）、「－」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

■ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

ファイル名は、ファイル名表示エリアを押すと表示されるキーボードを使って直接入力する方法と、ファイル名ボタンやユーザー名ボタンを使って入力する方法があります。

■ファイル名を自動設定する

チェックすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMM」に設定されます。

補足

- 「YYYY_MMDD_HHMM」は、スキャン開始時の年月日時分です。

■全削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの、すべての文字を削除します。

■1 文字削除

このボタンを押すと、ファイル名表示エリアの最後の 1 文字を削除します。

■ファイル名ボタン

各ボタンを押すと、ボタンの文字列がファイル名として設定されます。

■ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。

補足

- 認証機能を利用していない場合は、表示されません。

■日付ボタン

日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。

補足

- 日付をファイル名として設定した場合、ファイル名表示エリアで、日付部分の文字列を一部削除するなどの変更をすると、日付として認識されない場合があります。

■日付の形式

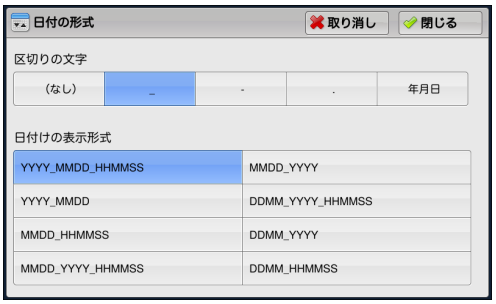
選択すると、［ファイル名 - 日付の形式］画面が表示されます。

参照

- 詳しくは、「［ファイル名 - 日付の形式］画面」(P.10) を参照してください。

［ファイル名 - 日付の形式］画面

［ファイル名］画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。



■区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを［(なし)］、［ _ ］、［ - ］、［ . ］、［年月日］から選択します。

■日付の表示形式

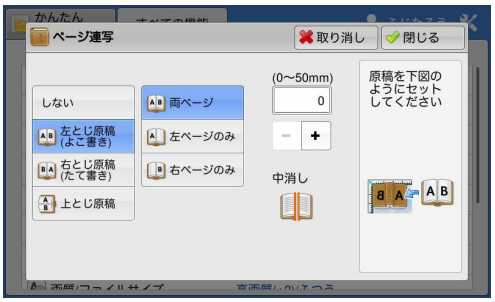
日付の表示形式を選択します。

補足

- ［区切り文字］で選択した項目が、［日付の表示形式］の選択項目に反映されます。

［ページ連写］画面

ページ連写とは、本などの冊子の見開きページを別々のページとして、ページ順にスキャンする機能です。原稿の左右のページを分けてスキャンしたいときに便利です。



補足

- この機能は、原稿送り装置では使用できません。
- お使いの機械では、原稿サイズを検知できません。読み取りサイズを設定してください。
- ［かんたんボックス保存］画面、および［すべての機能］画面の［両面原稿送り］で、［両面（左右開き）］、または［両面（上下開き）］に設定している場合、ページ連写を設定すると、自動で［片面］に変更されます。

■しない

ページ連写をしません。

■左とじ原稿（よこ書き）

左ページから始まる見開き原稿の左のページからスキャンします。

補足

- ［すべての機能］画面の［原稿セット向き指定］で、［左向き］に設定している場合、［左とじ原稿（よこ書き）］を設定すると、自動で［読める向き］に変更されます。

■右とじ原稿（たて書き）

右ページから始まる見開き原稿の右のページからスキャンします。

補足

- ［すべての機能］画面の［原稿セット向き指定］で、［左向き］に設定している場合、［右とじ原稿（たて書き）］を設定すると、自動で［読める向き］に変更されます。

■上とじ原稿

上ページから始まる見開き原稿の上のページからスキャンします。

補足

- ［すべての機能］画面の［原稿セット向き指定］で、［読める向き］に設定している場合、［上とじ原稿］を設定すると、自動で［左向き］に変更されます。

■両ページ

両方のページをページ順にスキャンします。

■左ページのみ

左ページだけをスキャンします。［左とじ原稿（よこ書き）］または［右とじ原稿（たて書き）］を選択している場合に選択できます。

■右ページのみ

右ページだけをスキャンします。［左とじ原稿（よこ書き）］または［右とじ原稿（たて書き）］を選択している場合に選択できます。

■上ページのみ

上ページだけをスキャンします。［上とじ原稿］を選択している場合に選択できます。

■下ページのみ

下ページだけをスキャンします。［上とじ原稿］を選択している場合に選択できます。

■中消し

見開き原稿の中央部の影を消します。中消しの幅は、0 ～ 50mm の範囲から、1mm 単位で指定します。

数値は、次の方法で入力できます。

- 数値入力ボックスを押すと表示される、数字ボタンを使って入力する

補足

- 入力を間違えた場合は、［C］を押して、入力し直します。入力後［OK］を押すと、数字ボタンが非表示になります。

- ［+］、［−］を押して入力する
- 操作パネルの〈数字〉ボタンを使って入力する

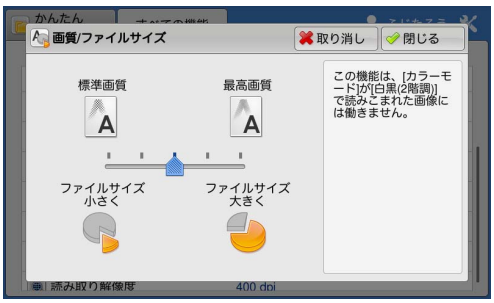
補足

- 入力を間違えた場合は、操作パネルの〈クリア（C）〉ボタンを押して、入力し直します。

［画質 / ファイルサイズ］画面

［画質 / ファイルサイズ］画面では、画質とファイルサイズを設定します。

［標準画質］［ファイルサイズ小さく］から［最高画質］［ファイルサイズ大きく］の間で、5 段階で設定できます。



管理者設定

機械管理者は、［ファイル名］画面のファイル名ボタンに表示する定型文字列を変更できます。

よく使うファイル名を登録しておくと、スキャン時にワンタッチで設定できて便利です。

補足

- 管理者権限のある認証ユーザーの場合は、［かんたんボックス保存］画面、または［すべての機能］画面で ボタンを押すと、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

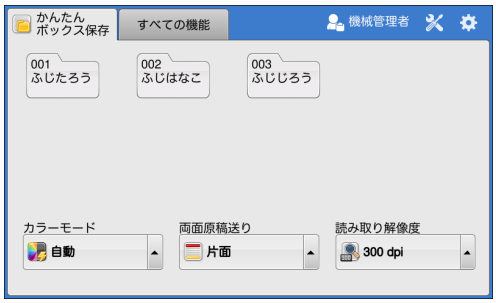
2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、［確定］を押します。

補足

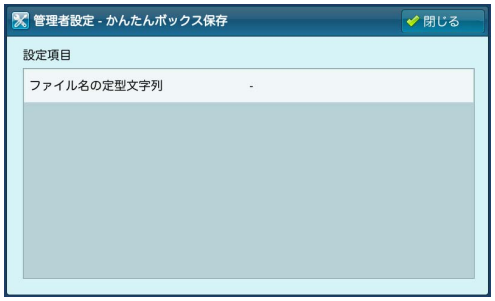
- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、［次へ］を押し、パスワードを入力します。

3 メニュー画面で、［かんたんボックス保存］を押します。

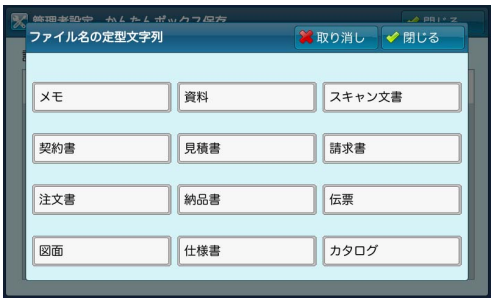
4 を押します。



5 ［ファイル名の定型文字列］を押します。



6 文字列を変更するファイル名のボタンを選択します。



補足

- 初期値として、12 種類のファイル名が登録されています。

7 キーボードが表示されるので、文字列を変更し、［決定］を押します。

補足

- ファイル名として登録できるのは、全角で 7 文字までです。最大文字数を超えて入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。
- 「¥」（半角）、「－」（全角）、および「～」（全角）を入力した場合、正しく表示されません。

8 ［決定］を押します。

9 ［閉じる］を押します。

トラブル対処

「かんたんボックス保存」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「かんたんボックス保存」が使用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

メッセージ	原因 / 対処
使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	このメッセージは、ユーザーが文書を格納できる親展ボックスがない場合に表示されます。 認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。 認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。 上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
親展ボックス XXX が削除されました。 使用できる親展ボックスがありません。 親展ボックスを登録してください。	[初期値保存] を設定した場合に、設定した親展ボックスが削除され、かつ、他に使用できる親展ボックスがないと表示されます。 認証機能を利用している場合は、各認証ユーザーが作成した親展ボックス、または機械管理者が作成したパスワードのない親展ボックスを使用できます。 認証機能を利用していない場合は、一般ユーザー、または機械管理者が作成した、パスワードのない親展ボックスを使用できます。 上記の親展ボックスがない場合は、[仕様設定 / 登録] 画面の [登録 / 変更] > [ボックス登録]、または [登録 / 変更] 画面の [ボックス登録] で、親展ボックスを登録してください。
スタートできません。 [ページ連写] を設定しているときは、原稿を原稿ガラスにセットして [スタート] ボタンを押してください。	このメッセージは、[ページ連写] を指定し、かつ原稿送り装置に原稿をセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した場合に表示されます。 [閉じる] を押して前の画面に戻り、原稿を原稿ガラスにセットして、操作パネルの〈スタート〉ボタンを押してください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 機械の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。 それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、［仕様設定 / 登録］画面の、［集計管理］>［ユーザー登録 / 集計確認］を選択し、ユーザーの［サービスの利用制限］で、［スキャナー］の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 • ［仕様設定 / 登録］画面の、［集計管理］>［ユーザー登録 / 集計確認］を選択し、ユーザーの［累積ページ数のリセット］で、累積ページ数をリセットする • ［仕様設定 / 登録］画面の、［集計管理］>［ユーザー登録 / 集計確認］を選択し、ユーザーの［サービスの利用制限］で、上限ページ数を増やす
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 **1.** スキャンの使用を禁止されたユーザーが操作パネルの〈スタート〉ボタンを押した **2.** 認証ユーザーとして登録されていない 1 の場合、機械管理者は、［仕様設定 / 登録］画面の、［集計管理］>［ユーザー登録 / 集計確認］を選択し、ユーザーの［サービスの利用制限］で、［スキャナー］の制限を解除してください。 2 の場合、機械管理者は、［仕様設定 / 登録］画面の、［集計管理］>［ユーザー登録 / 集計確認］で登録してください。

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

1 「かんたんボックス保存」の利用中に、操作パネルの〈ポーズ〉ボタンを 5 秒以上押します。

2 コンテンツ情報を確認します。

3 ［閉じる］を押します。

注意 / 制限事項

「かんたんボックス保存」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 認証機能を利用していない場合、本機能では、一般ユーザーまたは機械管理者が登録した、パスワードのない親展ボックスが利用できます。パスワードを設定した親展ボックスは利用できません。
  認証機能を利用している場合については、「認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項」(P.17) をご覧ください。
- 同時に、次の条件において、［読み取り解像度］で［600dpi］を指定すると、メモリー不足によるエラーが発生し、400dpi でスキャンされます。
  - フルカラー原稿である（［カラーモード］で［自動］を設定し、フルカラー原稿だと認識された場合も含む）
  - 両面を設定している
- 本機能は、DocuLyzer（別売）や CoinKit（別売）などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 追加型アプリケーションである「かんたんボックス保存」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- メール送信のジョブフローが関連付けられている親展ボックスを利用する場合、［ファイル名］画面で設定したファイル名は反映されません。

■認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能では、各認証ユーザーが登録した親展ボックス、および機械管理者が登録したパスワードのない親展ボックスが利用できます。
- 本機能は、お使いの機械に IC Card Gate（関連商品）、および IC カードリーダー（オプション）を接続している場合も利用できます。
- 認証モードが［外部認証］の場合、［認証システム］を［Authentication Agent］以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「かんたんボックス保存」が利用可能な状態となります。
- 認証ユーザーのユーザー名に、半角の「#」、「$」、「%」、「^」、「&」、「=」、「\」、「@」、「,」、「/」、および「:」が含まれている場合、「かんたんメニュー」画面から本機能を起動すると、エラーが発生して利用できません。

索引

ウ

裏写り防止する 8

カ

画質 / ファイルサイズ 8
カラーモード 6, 8
かんたんボックス保存 3
かんたんボックス保存を中止する 5
管理者設定（かんたんボックス保存）..... 12

ク

区切り文字 10

ケ

原稿セット向き指定 7
原稿の画質 7

コ

コンテンツ情報（かんたんボックス保存）..... 16

シ

地色除去する 8

ト

トラブル対処（かんたんボックス保存）..... 14

ヒ

日付の表示形式 10

フ

ファイル名の定型文字列 13
ファイル名 9

ヨ

読み込み濃度 7
読み取り解像度 8

ApeosPort-V C3320/4020 かんたんボックス保存　取扱説明書

著作者 – 富士ゼロックス株式会社
発行者 – 富士ゼロックス株式会社

発行年月 – 2014 年　10 月　　第 1 版

（帳票番号 :ME7287J1-1）